



Meiji University
Center for Mathematical Modeling and Applications

CMMMA Colloquium

20

第20回 現象数理学コロキウム

ネアンデルタール人 奇跡の再発見



講演者：東京都立大学 名誉教授 **小野 昭**
Akira ONO

2016年4月22日(金)

16:30~17:30

会場：明治大学 中野キャンパス
高層棟6階 セミナー室3

※ 参加費無料、事前申し込み不要です。どなたでもご参加いただけます。

明治大学先端数理科学インスティテュート

文部科学省 共同利用・共同研究拠点
現象数理学研究拠点



Abstract:

1856年ドイツのネアンデル渓谷(タール)でのこと。石灰岩の採掘中に偶然骨が発見された。後にネアンデルタール人骨とよばれる標識標本である。一部の骨だけが回収されたが、大部分は廃棄された。発見の洞窟も産業革命期のセメント素材として採掘により跡形もなく削平された。二人の若い考古学者の執拗な追求により、わずか1片の骨からピンポイントに発見場所が143年ぶりに特定され、新たな研究の地平が切り開かれていった。絶望視されていたことがなぜ可能になったのか。骨と骨が接合する確率、あきらめない喜びと可能性など、発見のプロセスをたどってお伝えしたい。

■連絡先

東京都中野区中野4-21-1 明治大学中野キャンパス8階
明治大学先端数理科学インスティテュート

Tel. 03-5343-8067 E-mail: mims@mics.meiji.ac.jp